

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科学校内研修支援事業」

実施報告

旭川市立永山小学校

* 学級数 26 * 児童数 663

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道旭川工業高等学校	教諭	宮崎 一 範	地学

【本事業のねらい】

天体の効果的な観測方法を学ぶことにより、児童の天体への興味・関心を高める指導に生かしたり、基礎的な操作を学ぶことにより、安全に配慮した観察・実験を行ったりすることができるよう、教員の指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

12月6日 14:45～16:00、旭川市立永山小学校理科室において、32名の教員を対象に室内で行える天体観測の方法(星座観察シートの作成、ステラナビゲーターでの観測)及び試薬の正しい調製方法や実験器具の安全な操作方法について実習を行った。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・クリアファイルに蓄光シールを貼った星座(オリオン座、冬の大三角形)は、野外で夜空の星座の観察に役立つものだと思います。
- ・ステラナビゲーターを使うことにより、天文現象の再現などのシミュレーションができるので、児童が実際に観測できない経時的な星座の動きを調べる学習に役立つと思います。
- ・これまで強酸の希釈などに対し、不安感がありましたが安全な方法を学ぶことができたので、これから授業の中で活用したいと思います。
- ・気化した場合のアルコールの恐ろしさを知ることができたので、今後は、安全に操作できるよう注意し、児童にも十分危険性について、説明したいと思います。
- ・理科を苦手としていましたが、本事業で理科の楽しさを知ることができたので、児童にも理科の楽しさを伝えることのできる授業を行いたいと思いました。

【来年度以降の実施に向けて】

講座を充実させるためには、長期休業中に行うなど、実習時間を十分確保する必要があると考える。